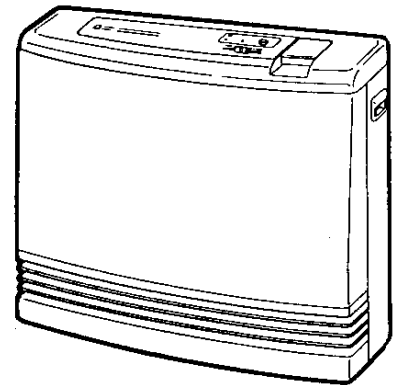


# ガスファンヒーター

## 43-560型

型式名 RC-214-1  
RC-214-2



## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

### 大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社 〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 電話 大阪 05 (586)3200  
南部支社 〒590 堺市住吉橋町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131  
北部支社 〒569 高槻市藤の里町39-6 電話 高槻 0726(71)0361  
東部支社 〒578 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(62)1131  
兵庫支社 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100  
京都支社 〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 電話 京都 075(231)8151  
奈良支社 〒631 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111  
和歌山支社 〒640 和歌山市本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481  
兵庫西支社 〒670 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0792(85)2221  
豊岡支社 〒668 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221  
湖南支社 〒525 草津市追分町字荒畑680-1 電話 草津 0775(62)5311  
彦根支社 〒522 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3131  
(長浜営業所) 〒526 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(62)7171  
本社・ガスビルサービスセンター 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

 大阪ガス

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのごガスファンヒーターをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

## もくじ

- 機能と特長.....1
- 必ずお守りください.....2・3・4・5
- 各部のなまえとはたらき.....6・7
- 器具の設置.....8・9
- 使用方法.....10・11・12
- 使用時のご注意.....13
- 点検・お手入れ.....14・15・16
- 故障かな?と思ったら.....17
- 寸法図.....18
- 仕様.....19
- 保管とアフターサービス.....20・21

### 換気にご注意

この器具は、強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。

# 機能と特長

## ■室温調節機能付

お部屋の温度を、お好みの温度にセットすると、自動コントロールする調節機能付です。

（11ページをごらんください。）

## ■不完全燃焼防止装置付

お部屋の酸素不足などによる、不完全燃焼を防ぐ安全装置付です。

自動的に消火します。

（13ページをごらんください。）

## ■セーブ運転機能付

お部屋が暖まると、設定室温を自動的に2℃下げるセーブ運転機能付です。

（12ページをごらんください。）

## ■転倒時安全装置付

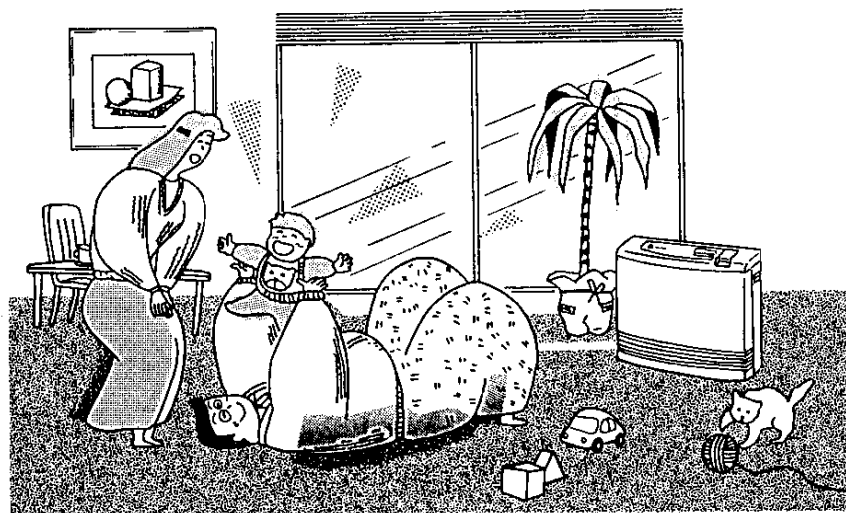
器具が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、運転を止め事故を防ぐ安全装置付です。

（13ページをごらんください。）

## ■フィルターサイン付

エアフィルターのはこり詰りをお知らせするランプ付です。

（15ページをごらんください。）

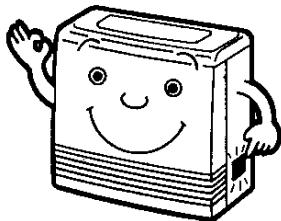
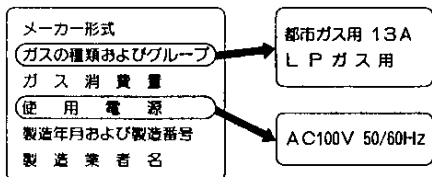


# 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

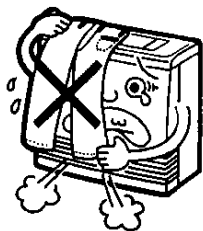
## ■ガスの種類・電源の種類を確かめる

- 器具本体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)・電源(電圧・周波数)以外では使用しないでください。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 電源の電圧と周波数を確かめてください。  
この器具は交流100V・50/60Hz用です。  
お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。
- 転宅されたときにも、ガスの種類、電源の種類を必ず確かめてください。



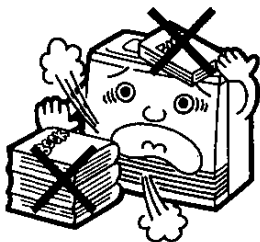
## ■用途について

- 暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。
- 衣類などを器具の上に乗せたり、掛けたりしないでください。  
(異常過熱・火災防止のため)



## ■温風吹出し口について

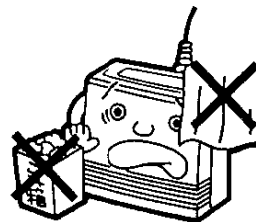
- 温風吹出し口の前に物を置いたり、器具の後面(エアフィルター部)をふさがないでください。(異常過熱・火災防止のため)



## ■使用場所について

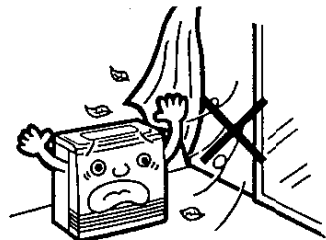
### ●燃えやすいものからは離して設置!!

家具・壁・カーテンなど燃えやすいものや、スプレー・シンナーなど引火性の強いものからは、じゅうぶん離してください。



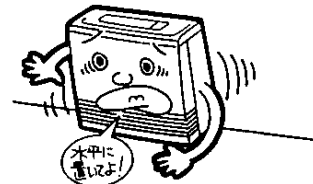
### ●器具に強い風を当てないで!!

強い風の吹き込むところでは使用しないでください。炎が風で消えることがあります。



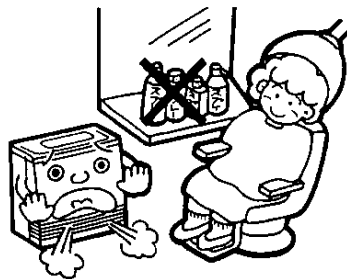
### ●器具は水平に!!

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板などを敷いて水平にしてください。(じゅうたんの変色防止のため)



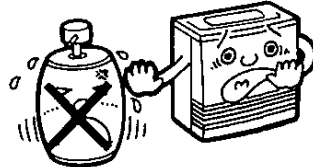
### ●スプレー使用の禁止!!

スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ほこりの多い場所では使用しないでください。(理・美容院や、メッキ・塗装工場などで使用すると、器具の故障や、腐食性ガスの発生により金属がさびたりする原因となります。)



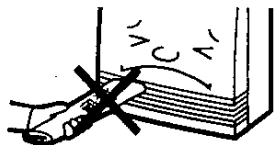
### ●スプレー缶を器具の前に置かないで!!

スプレー缶(殺虫剤、ヘアースプレーなど)を器具の前方1m以内に置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発する恐れがあります。

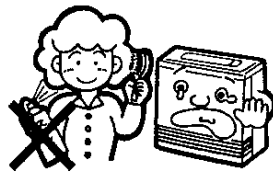


## ■火災予防について

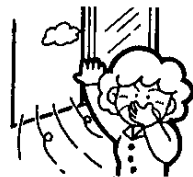
- 火をつけたまま持ち運ばないでください。
- 温風吹出口には物を入れないで!!  
紙・布・異物などを温風吹出口やエアークリアフィルターの中に入れてたり、ふさいだりしないでください。



- スプレーは離れた場所で!!  
ヘアースプレーなど引火物を器具の近くで使用しないでください。  
(引火する危険があります。)

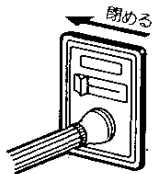


- ガス漏れに気づいたときは!!  
ガス栓を閉じ、窓や戸を全部開けて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。  
絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」などしないでください。  
(爆発事故防止のため)



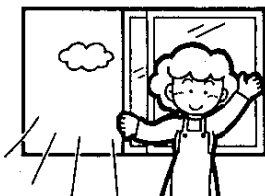
## ■ガス事故防止

- ガス漏れ防止のために!!  
ガスの接続は、必ずガス用ゴム管をお使いください。(9ページをごらんください。)  
使用後は必ず運転スイッチを切り消火したことを確かめてください。お出かけや長時間使用しないときは、ガス栓も必ず閉めてください。



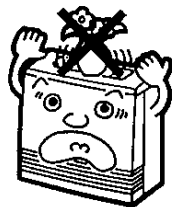
## ■換気のご注意

使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すが、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気を行ってください。



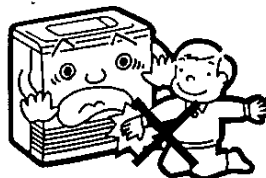
## ■水ぬれに注意

器具には水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかるところでは使用しないでください。

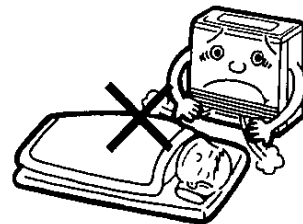


## ■やけどの注意

- 温風吹出口は、熱くなっています!!  
ご使用中および使用直後は、温風吹出口付近・エアークリアフィルターには手を触れたりしないでください。  
(特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。)



- 温風をじかにあてないように!!  
温風をむきかじり長時間あてないようご注意ください。  
(特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いのときは、周囲の方が注意してください。)



- 器具にのらないで!!  
器具の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。



- お子様に注意!!  
小さなお子様が勝手に運転操作をしないようご注意ください。

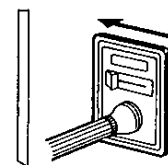
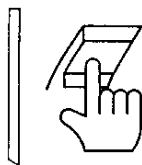
## ■器具の移動について

- 器具を移動するときは、必ず持ち上げて移動してください。  
器具を、引きずって移動すると、床(畳・じゅうたんなど)にキズがつくことがあります。

## ■異常時の処置

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、あわてず次の処置を、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

- 1 運転スイッチを切り
- 2 ガス栓を閉め
- 3 大阪ガスへ連絡

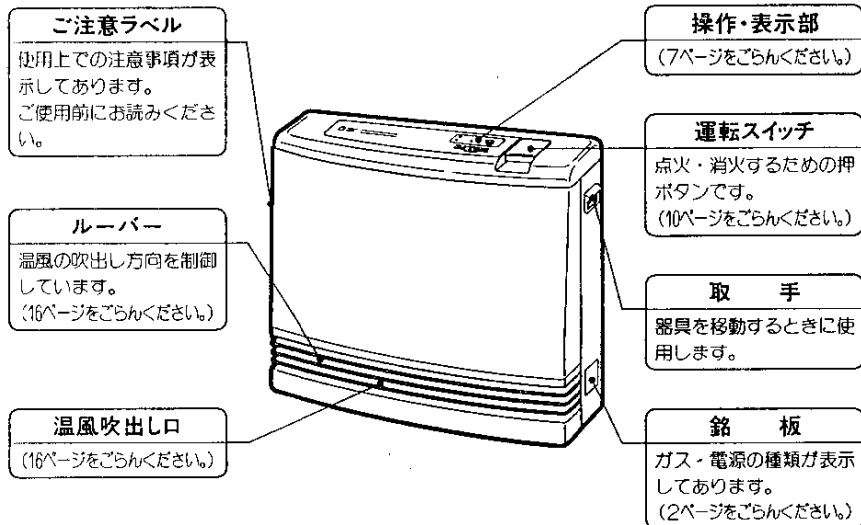


## ■日常の点検・お手入れ

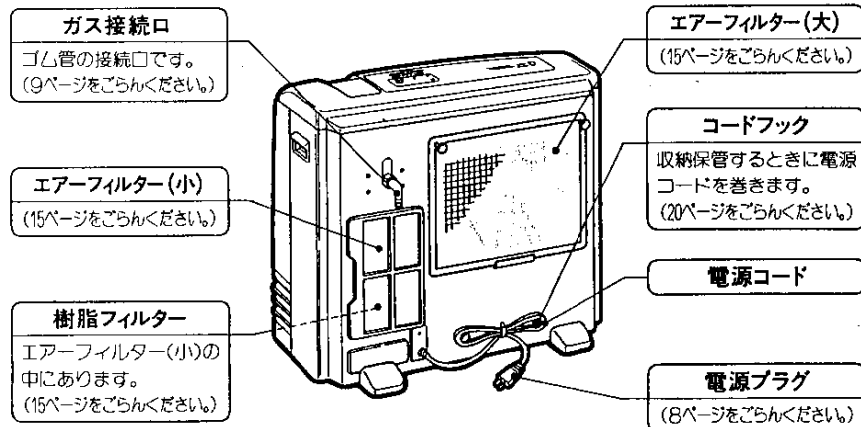
- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。(14・15・16ページをごらんください。)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

# 各部のなまえとはたらき

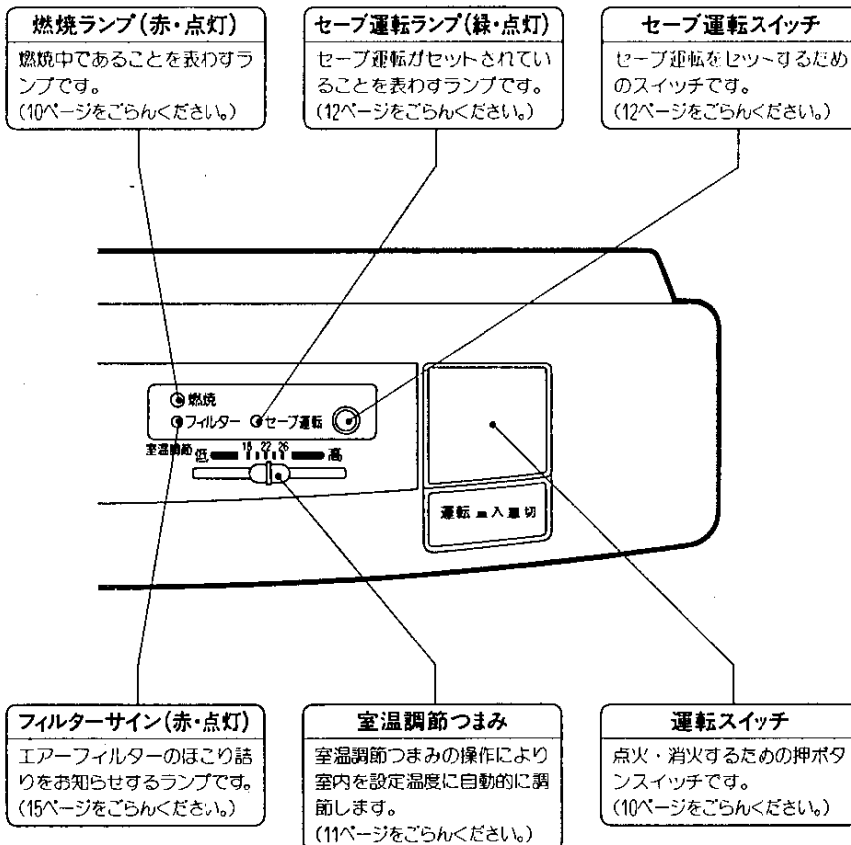
〈正面〉



〈背面〉



〈操作・表示部〉



# 器具の設置

## ■設置上の注意

設置するときに、3ページの **使用場所について** をお読みください。

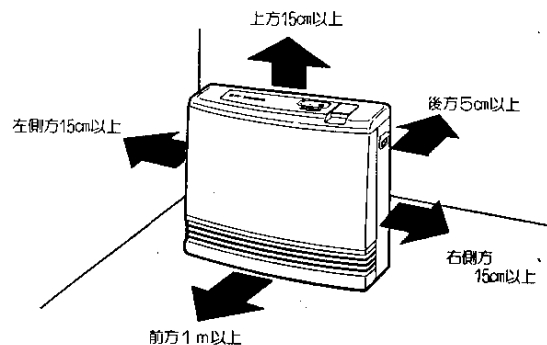
## ■設置場所について

- じょうぶで水平な場所に置いてください。

特に、毛足の長いじゅうたんなど不安定な場所へ設置するときは、器具の下にじょうぶで不燃性の敷板などを敷き、水平になるようにしてください。

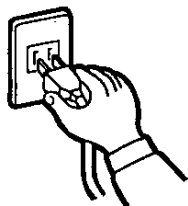
- 周囲の可燃物からは、じゅうぶん離してください。

器具の前方は、1 m以上、  
後方は、5 cm以上、  
上方は、15 cm以上、  
両側方は、15 cm以上、燃えやすいものから離してください。  
(上方、右および左側方のいずれか一方は、50 cm以上離してください。)



## ■電源の接続

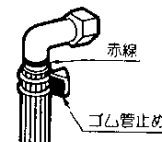
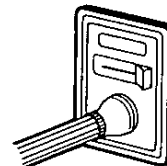
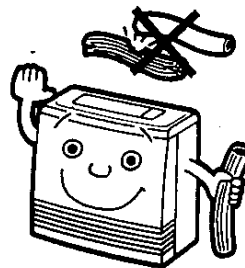
運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



## ■ガスの接続

- ガスの接続は、必ず内径9.5mmのガス用ゴム管を使用してください。  
ビニール管は使用できません。

- ガス用ゴム管は、ガス栓・器具のガス接続口とも赤線までじゅうぶんに差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。  
ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあり危険です。



### ■ガス用ゴム管は

ご注意

- 継ぎたしなどはしないでください。
- 折れたりねじれたりしないように、できるだけ短くして（ガス用ゴム管は3 m以内）、使用してください。
- 他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
- 器具の高温部に触れたり、器具の下を通さないでください。

### ●「カチット」方式接続について

- ガス用ゴム管の器具接続や、ガス栓接続に「カチット」を使用すれば、接続が簡単で便利になるだけでなく、不じょうぶなゴム管接続によるガス漏れを防ぐことができます。
- 「カチット」の器具への取り付けについては、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスサービスショールーム、もしくは大阪ガス支社にご相談ください。

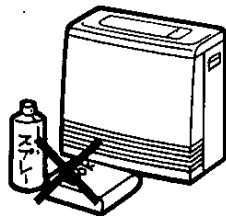
# 使用方法

運転のしかた

## ■ 点火前の準備と確認

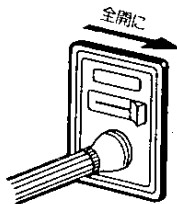
### 1 器具周囲の確認

- 器具の近くに、スプレーなど燃えやすいものがないことを確認してください。



### 2 ガス栓を開く

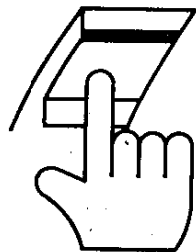
- ガス・電源の接続を確認し、運転スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- ガス栓は、必ず全開にしてください。



## ■ 点火のしかた

### 運転スイッチを押します。

- 運転スイッチは、ゆっくりいっぱい止まるまで押してください。(赤いラインが見えます)
- 対流用ファンが回転し、スパーク音がします。
- 「5~10秒」程で点火し、燃焼ランプ(赤色)が点灯します。
- 数秒後に、スパーク音が停止します。



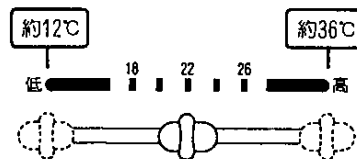
- 初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときは、点火操作をしても配管内に空気があるため、1回の操作で点火しない場合があります。点火操作後、約40秒程たっても点火しないときには、自動的に運転を停止します。そのときは、再度点火操作を行ってください。
- 点火、消火後に「コツコツ」「チリチリ」という音がすることがありますが、器具内部の膨張・収縮の音で何ら心配はありません。
- 運転スイッチは、強く押ししたり、足で押さえたりしないでください。

## ■ 室温調節のしかた

- 室温調節つまみで、「低」から「高」の範囲のお好みの温度に合せます。

約12~36℃の範囲で室温調節できます。数字をめやすにお好みの位置にセットしてお使いください。

- 設定室温に達すると強から弱になります。弱燃焼のときは自動的に弱の風量になります。点火後3~4分は室温に関係なく強燃焼を行います。この間は室温調節つまみを操作しても弱燃焼になりません。

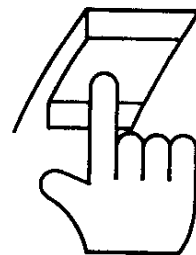


- お部屋の構造、設置場所、室外温度などによっては、「低」の位置でも温度が上がっていくことがあります。そのような場合は、ときどき運転スイッチを「切」にしてご使用ください。
- 室温調節つまみのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。お部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでもめやすと考えてください。

## ■ 消火のしかた

### 運転スイッチを押します。

燃焼ランプが消灯します。  
操作後、対流用ファンは数分間回転し続けてから停止します。  
器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。



### ご注意

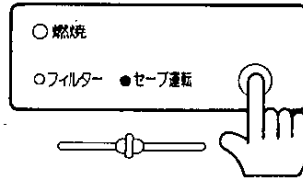
- 燃焼中、運転スイッチを「入」のままでの電源プラグの引き抜きによる消火や、消火後の電源プラグの引き抜きは行わないでください。故障の原因になります。

## ■セーブ運転のしかた

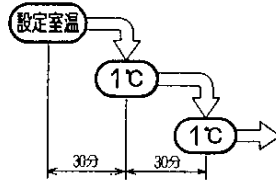
セーブ運転のセットは、運転中しかできません。

### ●セーブ運転スイッチを押します。

セーブ運転ランプ（緑色）が点灯しセット完了です。



セーブ運転とは  
お部屋の温度が設定室温に到達後、30分たつと設定室温を自動的に1℃低くしさらに30分たつと設定室温を1℃低くします。



### ●セーブ運転の取り消しかた

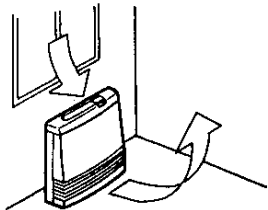
セーブ運転スイッチをもう一度押しますと取り消されます。



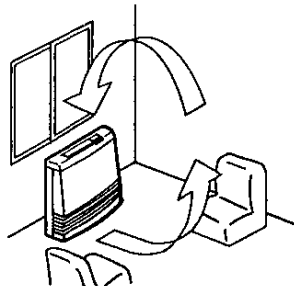
●お部屋の構造、設定室温、外気温度などによっては、弱連続燃焼あるいは、強連続燃焼のままでセーブ運転をしないことがあります。

## ファンヒーターの上手な使いかた

外気に接する窓の下に設置しますと冷気がすぐ暖まります。（そのとき、カーテンと器具はじゅうぶん離してください。）



器具前方に物を置かないようにして、温風の循環がスムーズになるようにしますと温度ムラが少なくなります。



# 使用時のご注意

使用中にバーナが消火したときは、すぐに運転スイッチを押し消火の状態に戻してガスを止め、さらにお部屋のガス栓も「止」の状態に戻して17ページの「故障かな?と思ったら」および、つぎの方法により処置してください。

## 安全装置が作動したときの処置方法

安全装置	働 き	原 因	処 置 方 法
立消え安全装置	使用中にバーナが消えてしまったとき、ガスを止め生ガスの放出を防止します。	ゴム管を踏んだり、ガス栓の開きが少ないかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。	点検後、再点火してください。
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、燃焼を停止します。	ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきつた部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアフィルター(大・小)がつまっても同様です。	じゅうぶんに部屋の換気を行い、エアフィルター部の掃除を行った後、再点火してください。
過熱防止装置(温度スイッチ)	器具内が異常に過熱したときに、ガスを止め消火します。	エアフィルターがほこり詰りしていたり、温風吹出口に障害物があるときなどにおこります。	エアフィルターを掃除し、障害物を取り除いた後、しばらく(5~6分)してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っている間は抜かないでください。)
過熱防止装置(温度ヒューズ)	器具内が異常に過熱したときに、ガスを止め消火します。		器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
転倒時安全装置	器具が倒れたり、強い衝撃が加わったときに、ガスを止め消火します。	点火したまま器具を持ち運んだり、器具が倒れたときなどにおこります。	いったん運転スイッチを「切」にし、再点火してください。
過電流防止装置(電流ヒューズ)	過電流が流れたときは、ヒューズを切ります。	器具内に水が多量に入ったりして、電気回路がショートしたときなどにおこります。	器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
停電安全装置	停電中は使用できません。安全装置が働き、ガス通路を止めます。		いったん運転スイッチを「切」にし、再点火してください。(停電中は、必ずガス栓を開けてください。)

### ご注意

●安全装置が作動した後、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくり返すような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

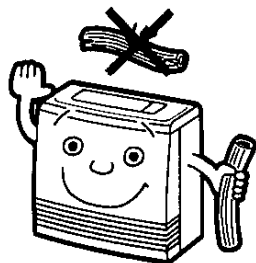


# 点検・お手入れ

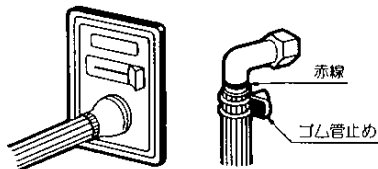
## ■日常の点検

### ●ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか？

- ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は、必ず取り替えてください。

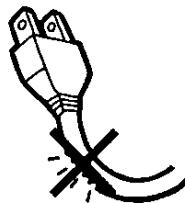


- ゴム管が器具・ガス栓ともガス接続口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。



### ●電源コード、プラグがいたんでいませんか？

電源コード、プラグがいたんでしまうと、感電や火災などの原因となります。



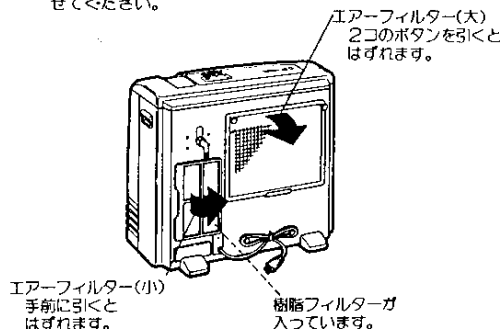
### ●エアフィルターが正しくセットされていますか？ ほこり詰りはありませんか？

- エアフィルター(大)、(小)と樹脂フィルターが、正しくセットされた状態でお使いください。
- エアフィルター(大)、(小)は、ほこり詰りのない状態でお使いください。

## ■お手入れ

### ●エアフィルターのお手入れ

- 1ヵ月に1回程度は、掃除をしてください。
- フィルターサインが点灯したときは、必ず掃除をしてください。
- エアフィルター(大)およびエアフィルター(小)は取りはずすことができます。掃除をするときは、取りはずして電気掃除機、はたきなどで詰っているほこりを取り除いてください。
- 油などで特に汚れがひどいときは、洗剤で手早く洗い、水気をよくはらってからじゅうぶんに乾燥させてください。

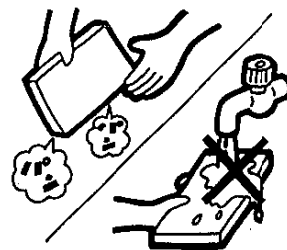


### ご注意

- エアフィルターがほこり詰りをしたり、温風吹出し口に障害物があったりしたときは、器具内が異常に過熱します。フィルターサイン点灯後も運転を続けると、器具が自動的に運転を停止することがあります。
- エアフィルター・樹脂フィルターとも、掃除後は、必ず取り付けてください。

### ●樹脂フィルターのお手入れ

- エアフィルター(小)の中に、樹脂フィルターが入っています。
- エアフィルター(小)のお手入れをされたときは、樹脂フィルターを忘れずにセットしてください。
- 樹脂フィルターのお手入れは、かるくはたく程度とし、水洗いなどは絶対にしないでください。
- 油汚れ、ほこりなどがひどいときは、交換が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社に、樹脂フィルターの取り替え(有料)をお申し付けください。



●ガスファンヒーターを安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れを必ず行ってください。

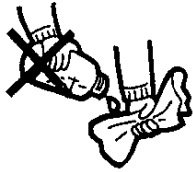
### ご注意

- 日常の点検・お手入れの際にはガス栓を閉じ、器具がじゅうぶん冷えてから行ってください。
- エアフィルター以外の部分は、絶対に分解しないでください。

●器体のお手入れ

汚れたらそのつどお手入れしてください。

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。  
特に汚れのひどいときは、やわらかい布に洗剤をつけてふき取ってください。



やわらかい布

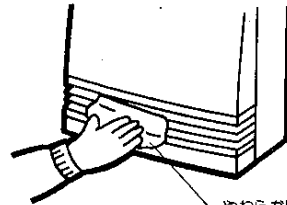
ご注意

- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対にご使用にならないでください。  
塗装の色があせたり、樹脂部分が変色したりします。

●温風吹出し口のお手入れ

1か月に1回程度は、温風吹出し口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。

- 温風吹出し口のルーバーは、樹脂でできています。強く押えたり、衝撃を加えたりしますとルーバーが折れたり、曲ったりして温風の方向が変わり、床(カーペットなど)が変色することがありますので注意してください。
- 温風吹出し口に白い粉や、汚れが付着することがありますが、異常ではありません。  
そのようなときには、やわらかい布でふきとってください。



やわらかい布

ご注意

- 温風吹出し口のお手入れは、ルーバーがじゅうぶんに冷え、温風が止まったのを確かめてから行ってください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対にご使用にならないでください。

# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたら、ただちに使用を中止し、修理・サービスをお申し付けになる前に一度つぎのことをお調べください。

こんなとき お調べいただくこと	原因										処置方法 (理由)	参照ページ
	運転スイッチを押しても作動しない	点火しない	使用中に消火した	ガスの臭いがする	至内温度があがらない	至内温度が下がらない	至内温度が変動する	至内温度が安定しない	至内温度が安定しない	至内温度が安定しない		
ガス栓の開き忘れ・開き不十分		●									ガス栓を全開にする	10
ゴム管の接続が不完全		●	●								ゴム管を確実に接続する	9
ゴム管内に空気が残っている		●									点火操作をくり返す	10
ゴム管の折れまがり・つぶれ		●									ゴム管の折れ、曲りを直す	9
ゴム管のヒビ割れ・穴あき				●							ゴム管を交換する、 先を切りつめる	14
電源プラグが差し込んでない	●										電源プラグを差し込む	8
停電している	●		●								通電が再開されるまで待つ	13
フィルターサインが点灯していた			●		●						エアフィルターを掃除する	15
フィルターサインが消灯していた			●		●						部屋を換気する	4
温風吹出し口がふさがれている			●		●						障害物を取りのぞく	8
設定室温が低い						●					設定室温を適正にする	11
部屋の窓や戸が開いている						●					部屋の窓や戸を閉める	—
運転スイッチを下まで押し切っていない	●										運転スイッチが止まるまでいっぱい押し込む	10
故障ではありません							●				点火するときの音です	—
								●			器具内部の膨張・収縮の音です	10
									●		しばらく換気しながら使用する (油などが焼けるためです)	—
									●		内部を冷やすためです	11

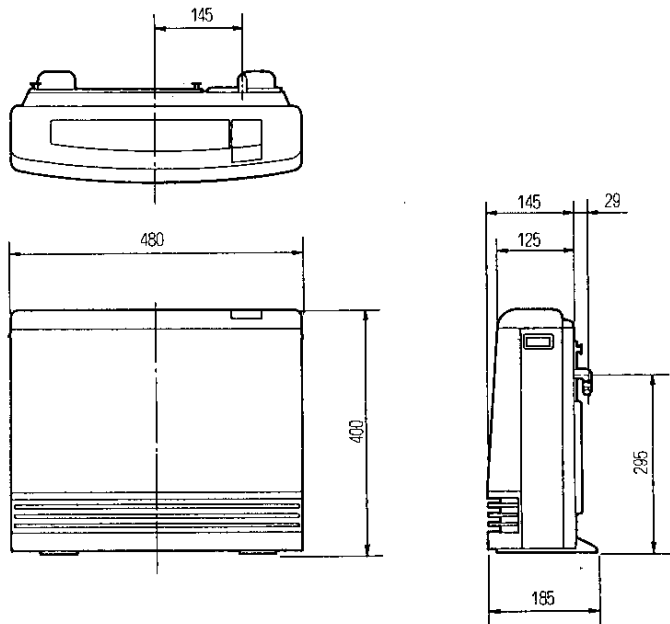
このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス社へご連絡ください。

ご注意

- 不完全な処置は事故のもとになりますので、絶対にお客さまご自身で修理なさないでください。

# 寸法図

(単位: mm)



# 仕様

種別		43-560型	
		都市ガス13A	LPガス
項目			
ガス消費量		2,100kcal/h	0.175kg/h
暖房のめやす		木造6畳まで コンクリート9畳まで	
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)		400×480×125 (ベース 185)	
重量 (kg)		7.2	
電気消費量 (W)		強/弱 24/17	
接続	ガス	9.5mmφガス用ゴム管	
	電気	AC100V、50/60Hz (電源コード長さ 1.8m)	
燃焼方式		ブンゼン燃焼式	
給排気方式		開放式	
放熱方式		強制対流式	
点火方式		連続放電、ダイレクト着火方式	
安全装置		<ul style="list-style-type: none"> <li>○立消え安全装置</li> <li>○不完全燃焼防止装置(サーモカップル式)</li> <li>○過熱防止装置(温度ヒューズ、温度スイッチ)</li> <li>○過電流防止装置(電流ヒューズ)   ○停電安全装置</li> <li>○転倒時安全装置   ○逆火安全装置(温度スイッチ)</li> </ul>	
型式名		RC-214-1	RC-214-2

# 保管とアフターサービス

## ■保管(長期間使用しない場合)

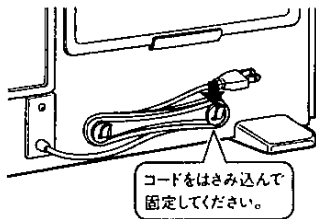
●ガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●器具の点検・お手入れをしてください。

- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
- 特にガス接続口には、ほこりやごみが入って通路をつまらぬように注意してください。
- 湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- お求めになったときの箱に入れておかれると便利です。そのとき、電源コードをコードフックに巻き収納されると便利です。

●コードフックの使いかた

電源コードをコードフックに巻き、右の図のようにコードをはさみ込んで固定してください。



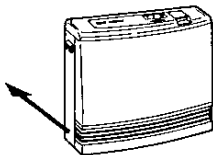
## ■アフターサービスのお申し込み

●サービスのお申し込み

●17ページの「故障かな?と思うたら」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。  
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名……ガスファンヒーター
- (2) 品 番……左側面下部に貼付してあります。

(例)



- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) お名前、ご住所、電話番号、道順……(できるだけ詳しく)

●転居されるとき

●ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご相談ください。  
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●保証・補修について

この器具には、保証書がついています。

●保証期間中は……

保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。  
保証書を紛失されると、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●点検整備のおすすめ(有料)

- 長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 「点検整備」は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご用命ください。(有料)
- 「点検整備」の内容は、下記の通りです。
  - ① 機能部品の点検、確認
  - ② 清掃整備